

# 北海道における食の供給力(生産・加工・流通)の強化 —食のクラスターと物流改善—

【戦略的目標『アジアに輝く北の拠点』・『地域力ある北の広域分散社会』への対応】

『アジアに輝く北の拠点』では、東アジアの経済発展に伴い食料需要が大幅増加する中で、国内最大の食料供給力を有している北海道が、安全で高品質な農水産物を国内及び東アジア地域に供給するものとして、「生産・加工・流通等の食にかかわる産業において、食品の安全を確保した上で、高付加価値化を図り、海外の農水産物や食品にも対抗し得るように競争力を強化し、あわせて、輸出促進を図ることが重要である」としているが、北海道の農水産物物流については、国内・国外ともに大きな課題があり、食の供給力強化にはこの課題解決が不可欠。このため、食のクラスターと農水産物の物流改善に焦点をあてた食の供給力(生産・加工・流通)の強化を図る戦略的取組を展開。

また『地域力ある北の広域分散社会』では、「北海道内の各地域において、高品質農水産物を内外に供給する地域、東アジアへの玄関口として生産・物流の拠点など優れた特色ある地域資源を活かした地域づくりを進める」としており、各地域において、食のクラスター形成を図るとともに、広域分散型社会である北海道において効率的かつ低コストで農水産物を輸送することにより食の供給力を強化。

## 【農水産物の生産力強化と高付加価値化】

- 北海道の農業および食料品の粗付加価値率は全国8ブロックで最も低い
- 気候条件から農作物の収穫時期に制約
- 農水産物の生産拡大と生産性の向上
- 産地保管の拡大と保管コストの削減
- 付加価値の高い食品、加工品の開発 等

## 【北海道における物流の移出入のアンバランス及び輸送手段の欠如】

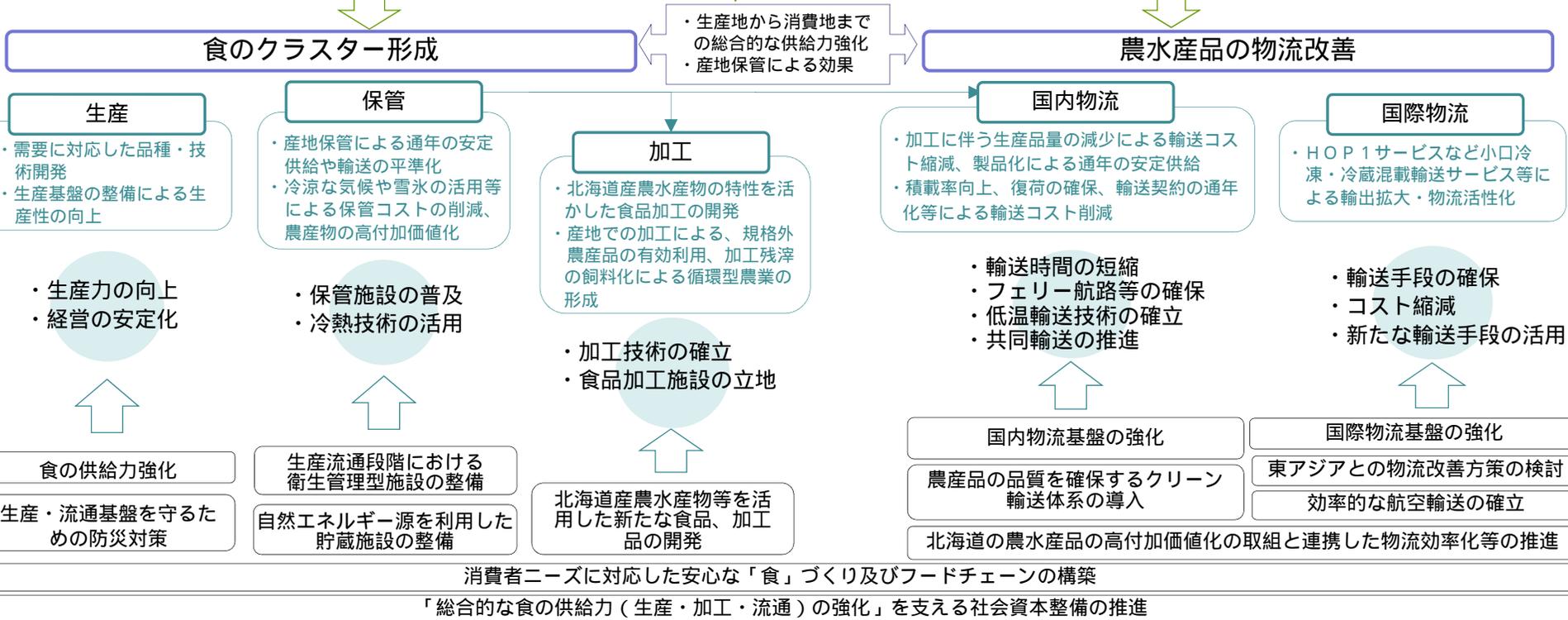
- 本州に常時送り出す貨物が少なく移入超過(復路は空車)
- 収穫期は農産物の大量出荷に伴い臨時増車等による高コスト
- 成長市場の東アジアに対し、農水産物の大量・安価・生鮮輸送の手段が不足
- 長距離トラック輸送のため、コスト・CO2排出両面で損失
- 農産物の保管・加工による通年安定供給と農産物輸送の平準化
- 効率的な流通を支える多様な輸送モードの構築

「戦略的取組」  
を取り巻く  
現状・課題

具体的  
戦略

検討項目

施策群



施策群の連携機関：北海道、市町村、食クラスター連携協議体、食料流通備蓄推進協議会、北海道国際物流戦略チーム、北海道国際輸送プラットフォーム推進協議会 等  
日本再興戦略との対応：世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現、立地競争力の更なる強化 等